ねやがわ議会だより

ことだま

1
2025
【vol.259】

新年のごあいさつ

副議長
高見 雄介

議長
中川　健

新年、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市議会の活動に温かい御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、昨年は、岸田首相が退陣を表明し、10月に石破内閣が発足され、アメリカでは、11月に大統領選挙が行われ、トランプ大統領が返り咲くなど大きな変化があった年でした。

また、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、オリンピックでは、日本代表が金メダルを20個と過去最多数を獲得し、パラリンピックでは、金メダルを14個と東京大会を超える個数を獲得しました。野球では、大谷翔平選手と山本由伸投手が所属するドジャースがワールドシリーズを制覇するなど、多くの日本人が世界で活躍し、我々に勇気と感動を与えてくれました。

その一方で、元日に能登半島地震が発生し、甚大な被害に見舞われるなど、自然災害の脅威を実感せずにはいられない一年でもありました。

さて、人口減少や少子高齢化の進行、さらに、長引く物価高騰など、地方自治体を取り巻く情勢は刻々と変化しており、それに伴い、地方自治体の抱える課題は年々、複雑・多様化しております。

このようなときにこそ、議事機関としての役割と責任を果たすべく、市民の皆様の声を誠実に受け止めるとともに、今まで以上に議会の取組や議員の活動を発信していくことが重要であると考えております。

市議会では、情報発信媒体である議会だよりのリニューアルや、常任委員会視察の実施方法の見直しなど、市民に開かれた議会、市民に信頼される議会に向けて取り組んでおるところでございます。

今後とも、二元代表制の一翼を担う市議会として、市民の皆様の期待と信頼にお応えできるよう、市政の更なる発展と市民福祉の向上に向けて、行政と共に努力してまいる所存でございますので、一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、飛躍と発展の素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げまして、新年の御挨拶といたします。

誌面のご案内

新年の抱負	1～4
決算審査のあらまし	5～6
委員会視察の報告	7

謹賀新年

市議会議員は、公職選挙法で市内での年賀状や挨拶状などを出すことが禁止されているため、本誌面をもって、新年の挨拶にかえさせていただきます。

市民の皆様の御理解をお願い申し上げます。

発行　寝屋川市議会　編集　議会広報委員会　☎072－824－0010（直通）

新年の抱負

大阪維新の会議員団

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

新年あけましておめでとうございます。最大会派となる議席をお預かりする責務と市民の負託に応え公正に職務を遂行してまいります。

持続可能な行財政運営について

〇職員の自己都合退職が増加傾向にあり、さらには役職者の退職、そして他市への転職などが見受けられるため、人材確保の観点から原因の把握に努めるとともに、人材流失の措置を講じること。

子育て教育について

〇子育て世帯の経済的負担軽減を図り、支援するため、小学校の児童の給食費を無償化すること。あわせて質の低下には十分に留意し学校給食本来の意義を見失わないこと。

〇共同親権の改正民法施行を控え離婚に対する行政の支援は必須である。親教育・共同養育講座を適切な時期に実施すること。

〇本市の離婚の現状を把握した上で親子面会交流の支援を行うこと。

健康福祉について

〇認知症の早期発見・早期ケアに資する、特定年齢到達時の検査推奨に係る取組を実施すること。

〇成年後見制度、高齢者等終身サポート事業の利用に係る周知啓発を行うこと。

〇成年後見等報酬助成の市長申立て以外案件への拡充を図ること。

〇高齢者に免許返納を国が促しているが返納した後に移動手段がないため、引きこもり対策の観点から外出促進にも繋がるシニアカー補助金制度を実施すること。

まちづくりについて

〇大阪公立大学工業高等専門学校の跡地利用において本市都市計画を熟考し本市の意向が組み入れられるよう大阪府と協議を進めること。

〇リラットの今後の活用方針を明確にすること。

瀬戸　健太
大利元町12番8号
☎ 090-6050-5062
昭和60年生、大阪維新の会

川口　肇人
若葉町16番7号
☎ 090-5058-5836
昭和47年生、大阪維新の会

奥　大輔
池田新町3番11－102号
☎ 090-9622-9461
昭和50年生、大阪維新の会

古田　尚央
末広町10番9号
☎ 090-2704-6522
昭和53年生、大阪維新の会

福田　篤志
香里北之町7番13号
☎ 080-2532-4113
昭和59年生、大阪維新の会

中川　健
三井が丘一丁目4番8－206号
☎ 888-5993
昭和63年生、大阪維新の会

公明党市会議員団

市民ニーズをいち早くキャッチ！
現場に生きる公明党

新年あけましておめでとうございます。持続と改革を見極め、より住みやすいまちへ進めてまいります。

市民生活の向上

○新たに京阪バス運行路線が減少された地域への対策
○がん検診及び各種健診事業の受診率向上施策の推進
○帯状疱疹ワクチン接種の定期接種化に伴う市独自の費用助成
○高齢者の補聴器購入費用の助成
○高齢者聴力検査の実施
○社会的孤立の環境整備と「地域共生社会づくり」整備の更なる推進
○終活相談窓口の設置
○地域包括支援センターの体制強化
○認知症啓発イベントへの予算措置
○骨髄等提供者へのドナー助成金と事業所への休業補償制度の創設
○こども貧困等、早期発見のため行政間の連携強化（データ連携等）

市民活動の向上

○ねやバスの拡充（ICカード導入、乗り残し解消）
○自転車用ヘルメット購入費用助成の対象者拡充
○市民が文化芸術にふれる機会の更なる充実と人材育成

こどもの健全育成

○小学校給食費の無償化
○ヤングケアラーへの支援
○中学校吹奏楽部の楽器修繕
○校舎棟最上階の暑さ対策

まちづくり施策

○各駅周辺に図書館設置（中央図書館分室）
○公共施設にバリアフリートイレの設置
○東寝屋川地域に子育て世代包括支援センターの設置

岡　由美
成田南町
☎ 831-8700
昭和 42 年生、公明党

村上　順一
南水苑町５番 12 号
☎ 811-0205
昭和 42 年生、公明党

辻谷　恵一
寿町 45 番
☎ 090-1482-3053
昭和 47 年生、公明党

武田　由利子
錦町５番３－ 101 号
☎ 080-3817-6590
昭和 44 年生、公明党

髙見　雄介
上神田一丁目 44 番 27 号
☎ 828-0814
昭和 46 年生、公明党

坂口　安喜子
八坂町
☎ 090-2196-7361
昭和 43 年生、公明党

全員協議会を開催

市政に関する案件についての説明を受けました。

開催日　令和６年 11 月 19 日（火）

案　件　・（仮称）寝屋川市地域コミュニティ活性化推進条例（素案）について
・寝屋川市立地適正化計画　一部改定（素案）について

詳細は、ホームページ（**右の QR コード**）から御参照ください。

自由民主党市会議員団

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

我々は引き続き議論をする会派として、本会議一般質問、委員会質疑、所管事項質問等で、市民の皆さまの福祉及び健康寿命の延伸、社会資本整備、暮らしの安全安心に向けた政策提言を行い、国策とも連携し、様々な角度から提言を行ってまいります。

都市計画道路対馬江大利線

○対馬江大利線は中心部の市駅に直結する道路である。コンセプトを持った道路空間として「機能」と「美観」の両面からデザインすることを求めてきた。今後も沿道住民の声を丁寧に聞き、真摯に対応すること。

まちづくりの基本

○まちづくりの基本は、文化・芸術と教育の向上である。現在、本市は教育に力を入れていることは大いに評価する。今後は、文化政策、芸術政策にも一層の力点を置くこと。

○文化・芸術政策は単なる社会教育事業としてではなく、社会包摂の機能として、さらには教育の観点から、併せて都市創造の観点からも重要である。文化・芸術政策を通して地域のコミュニティ形成と市の文化資質の向上に努めること。

北川　健治
仁和寺本町二丁目４番８号
☎ 827-6820
昭和 23 年生、自由民主党

北川　千尋
打上元町 27 − 4
☎ 070-8374-4742
平成２年生、自由民主党

金子　英生
太秦桜が丘１番 18 号
☎ 821-5774
昭和 46 年生、自由民主党

森本　雄一郎
清水町 32 番 18 − 204 号
☎ 888-3085
昭和 48 年生、自由民主党

市議会を傍聴しませんか？

市議会で開かれる本会議・委員会の様子はどなたでも傍聴することができます。

詳細は市議会ホームページ（上の QR コード）をご覧ください。

本会議を録画配信しています！

市議会で開かれる本会議の様子は、インターネットで録画配信しています。市議会ホームページの「本会議録画配信」（上の QR コード）から視聴できます。

議会だよりの誌面では、お伝えできなかった議案の審議や一般質問の様子を御覧いただけます。

ねやがわ議会だよりのサブタイトル

ことだま

ことだまの由来は…？

「議会」は言葉で意思や意見を表現し、議論によって物事を決める場であり、議会だよりは議員一人ひとりが思い（魂）を込めて発信した「言葉の力」（内容）であるとの思いから「ことだま」としました。

シン・ネヤガワ議員団

時代の変化に対応した市民ど真ん中の政策実現を!!

新年あけましておめでとうございます。本年も市民に寄り添い、将来の街づくり、市民福祉の増進に努めてまいります。

○公共施設・駅・病院・買い物施設等を巡回するバスを始め、全市的に公平性の高い「市民の足」の確保を。
○公道・私道問わず道路の舗装や沿道の植栽剪定の予算増額を。
○「市民大訓練」の結果を活かし、各種マニュアルの改訂に取り組み、未策定となっている中学校など他の避難所のマニュアル策定を。
○保育士が将来に希望を持って働けるように、市独自の処遇改善や奨学金返済支援を。
○望が丘小中学校の設備・教育環境を基準として、老朽化している既存学校の早期改善を。
○物価高騰に苦しむ市民や事業者への早期の対策を。
○これからの公園のあり方として、「水と触れ合える親水空間」を重視し、地域均等に整備を。
○「ゼロカーボンシティ宣言」をするために具体施策の検討を。
○職員が寝屋川市内に居住するメリットは大きい。居住割合の減少傾向の改善への取組を。

久野　須賀子
御幸西町 25 番 14 号（301 号）
☎ 090-2554-3185
昭和 40 年生、無所属

馬場　才
美井元町 15 番 11 号
☎ 837-7222
昭和 46 年生、無所属

西尾　勝成
三井南町 1 番 1 号（101 号）
☎ 080-4244-7728
昭和 52 年生、立憲民主党

板東　敬治
大利元町 16 番 7 号
☎ 826-6822
昭和 40 年生、無所属

日本共産党市会議員団

物価高から市民のくらしを守る年

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

○安全が確保されない万博は、学校行事としての参加でなく、子ども・保護者の判断に委ねること。
○小学校、保育所園、幼稚園、あかつき・ひばり園の給食費の無償化。
○中学校の少人数学級の実施。
○国民健康保険料、後期高齢者保険料、介護保険料の負担軽減。
○介護保険料減免制度の拡充、利用料減免制度の創設。
○地域包括支援センターの職員体制の拡充と介護認定期間の短縮。
○高齢者の補聴器購入補助の実施。
○重度障がい者の入所施設、グループホームの整備。
○正規職員の増員と非正規職員の待遇改善。
○市内バス路線の維持、乗合いタクシーの事業の拡充で市民の足を守ること。

松尾　信次
萱島東二丁目 14 番 26 号
☎ 090-3056-9924
昭和 23 年生、日本共産党

西田　昌美
田井西町 32 番 1 号
☎ 090-9713-3588
昭和 33 年生、日本共産党

中林　和江
葛原一丁目 23 − 5
☎ 090-3944-8385
昭和 31 年生、日本共産党

決算審査のあらまし

９月定例会で継続審査となった令和５年度会計の歳入歳出決算を審査するため、予算決算常任委員会分科会等を10月に４日間開催しました。
その質疑応答の一部要旨を掲載します。

総務都市創造分科会

市民意識調査

問 令和５年度に再開したが、その評価と今後の実施予定を伺う。

答 防犯分野については、満足度が低いといった課題も見受けられ、今後、施策を検討していく。今後の実施は必要に応じて検討する。

ねやがわＰＲ大使

問 令和４年度に比べ活動回数は増えたのか。

答 成人式でのビデオレターの提供に加え、広報誌掲載インタビューと市の動画出演をしていただいた。

ねやがわ PR 大使

問 活用の目的を伺う。

答 本市のイメージ向上に向けたＰＲ。

問 本市のイメージ向上のためには、市外向けに発信することが重要だと考えるがその実績は。

答 市の動画にも出演いただき、市外への発信につながっていると認識している。

プレミアム付商品券

問 苦情の内容とその苦情を分析し今年度どういう反映をしたか。

答 店頭販売で長時間並んでも購入できなかったことが課題と考え、店頭販売の店舗数縮小等、販売方法について実施主体と調整している。

地籍調査

問 萱島本町についてはスムーズに全て調査を終えたのか。

答 複数名の所有者が有する道路で一部不調となった箇所がある。

問 今後どうするのか。

答 法務局が地図混乱地区の解消の取組を行っており、現在、法務局と解消に向け協議を行っている。

京阪本線連続立体交差事業

問 用地購入と物件補償については全て完結したのか。

答 令和５年度で全て完了した。

問 収用の有無について伺う。

答 任意交渉で全ての権利者との契約に至ったため、収用裁決申請を行う必要はなかった。

下水道管

問 古いところは50年が経過している。耐震化工事の進捗を伺う。

答 管路全体に対して44％程度の管路が耐震化できている。

令和５年度決算の概要 （単位：千円）

区分 / 会計		歳入A	歳出B	差引(C) A−B	繰越額D	実質収支 C−D
一般会計		106,994,223	105,740,075	1,254,148	55,182	1,198,966
特別会計	国民健康保険	25,135,888	25,034,016	101,872	0	101,872
	介護保険	23,692,909	23,612,403	80,506	0	80,506
	後期高齢者医療	4,391,927	4,173,995	217,932	0	217,932
	公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	56,420	50,826	5,594	0	5,594
合計		160,271,367	158,611,315	1,660,052	55,182	1,604,870

△はマイナス、消費税込（単位：千円）

会計	項目	金額	項目	金額
水道事業会計	収益的収入額	4,147,972	資本的収入額	540,473
	収益的支出額	3,821,149	資本的支出額	1,464,100
	差引額	326,823	差引額	△923,627
	税抜処理後純利益	246,372		
下水道事業会計	収益的収入額	5,814,462	資本的収入額	4,604,841
	収益的支出額	5,411,423	資本的支出額	7,548,728
	差引額	403,039	差引額	△2,943,887
	税抜処理後純利益	237,496		

健康福祉分科会

個人番号カードの交付

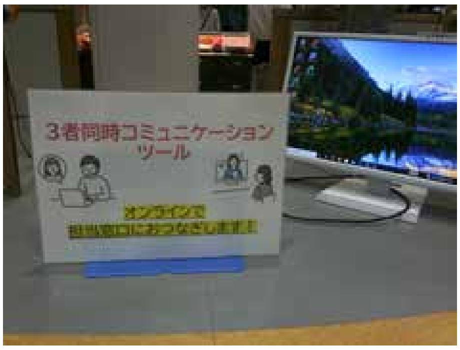
問 **交付枚数の実績が減少した分析と今後の交付についての考え方は。**

答 国のマイナポイント第二弾事業が終了した影響と考えているが、今後も国の要請に基づき、引き続き促進、推進していく。

3者同時コミュニケーションツール

問 **活用例と今後の展開は。**

答 本庁舎の総合案内から高齢介護室などにつないで介護や保険料の相談などに活用。今後は、ICT機器やネットワーク環境を整備し、申請手続の完了を目指した検討を進める。



３者同時コミュニケーション

シティ・ステーション

問 **各シティ・ステーションの証明書等の発行枚数に増減があるが、その要因と分析は。**

答 全シティ・ステーションで証明発行及び利用件数が減少している。コンビニ交付の利用によるものと考えている。

池の里市民交流センター

問 **プレハブ庁舎について、リース期間終了後の取扱いは。**

答 無償譲渡になっており、今後は、第2次市民サービスのターミナル化推進計画に基づき検討していく。

民生委員・児童委員

問 **欠員が29人いるが、その解消努力はどのようにされているか。**

答 地元の民生委員の校区長や、自治会長などと協力しながら、欠員の補充に努めている。

特定健診

問 **受診率と未受診者への対策は。**

答 受診率は34％。未受診者へは年2回、それぞれ約2万人に受診勧奨はがきを送付している。また、受診勧奨はがき送付後に電話勧奨を行い、電話勧奨ができた775人中456人の受診があった。

母子健康アプリ

問 **利用者からの使用の印象は。**

答 子ども・子育て支援事業計画におけるアンケートの中で60％以上の方が、よく知っていると回答されており、情報を得るに当たり、便利との認識をいただいていると捉えている。

文教生活分科会

令和6年能登半島地震に伴う職員派遣

問 **派遣した期間と延べ人数は。**

答 第1便は令和6年1月12日に出発し、最終便は5月14日。派遣した職員は延べ26人である。

問 **職員派遣で得た教訓を、今後、本市の防災施策に反映していくのか。**

答 今後様々な形で全庁的な防災対策に反映していきたいと考えている。

子育て支援の拠点

問 **ターミナル計画、4駅中心のまちづくりと連動した子育て支援の拠点の今後の展開の仕方について見解を問う。**

答 今後の人口の動向、年齢層を注視し分析する中で、市民ニーズの変化をも捉え、必要なサービスの整備を進めていくべきと考えている。

養育費等相談支援

問 **養育費等の相談件数の実績は。**

答 24件の相談があり、公正証書作成促進補助金についても24件支給。

問 **アプリやホームページ以外に、もっと積極的な周知方法を求める。**

答 出来るだけ早く共同養育についても意識していただくことも必要と考えており、今後どういった方法が効果的かについて検討を進める。

ごみ減量プロジェクト

問 **ごみ減量の推移について伺う。**

答 令和4年度は一人一日当たり約800g、令和5年度は約770g。

教職員の研修

問 **令和5年度の教職員研修の視察先と、参加人数は。**

答 熊本県八代市、石川県金沢市及び能美市へ各54人が参加した。

問 **視察での学びを、その後どのようにいかしているのか。**

答 参加した教員が各校で報告会を行うとともに、全教職員に配付している冊子の改訂を行い、視察での学びを市内全体に還元している。

中学校給食

問 **温かい給食になり中学校の残渣（ざんさ）率が10％以下になったが次なる取組は。**

答 残渣の状況調査や学習発表会など、残渣の少ない学校の取組を情報共有したいと考えている。

中学校給食に関する写真

総務都市創造常任委員会

日　程　10月29日（火）～30日（水）

視察先・視察内容

【東京都杉並区】

・杉並区デジタル化（DX）推進計画について

・AI オンデマンド交通に関する取組について

【東京都大田区】

・大田区シティプロモーション戦略について

視察参加者

委員長	岡　由美	副委員長	古田 尚央	
委　員	川口 肇人	中川　健	村上 順一	
	北川 健治	馬場　才	松尾 信次	

杉並区役所の視察の様子

健康福祉常任委員会

日　程　10月23日（水）～24日（木）

視察先・視察内容

【石川県能美（のみ）市】

・高齢者福祉施策における、地域共生社会に向けた重層的支援体制整備等の取組について

【石川県加賀市】

・加賀市版地域包括ケアシステムの取組について

視察参加者

委員長	福田 篤志	副委員長	金子 英生
委　員	瀬戸 健太	武田 由利子	辻谷 恵一
	北川 千尋	久野 須賀子	中林 和江

加賀市役所の視察の様子

文教生活常任委員会

日　程　11月５日（火）～６日（水）

視察先・視察内容

【鹿児島県鹿屋市】

・行政に頼らない住民自治“やねだん”について

【鹿児島県大崎町】

・資源リサイクルについて

視察参加者

委員長	板東 敬治	副委員長	坂口 安喜子
委　員	奥　大輔	髙見 雄介	森本 雄一郎
	西尾 勝成	西田 昌美	

大崎町のそおリサイクルセンターの視察の様子

議会だより印刷コスト１部 3.34 円（116,000 部発行）